

# 紀伊水道春シラス漁場調査速報

令和8年3月27日

和歌山県水産試験場（電話：0735-62-0940）

漁業調査船「きのくに」は、2026年3月17日から18日に、串本町沖から和歌山市沖にかけて春シラス漁場調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおり。イワシ類の仔魚および卵の採集はボンゴネット（口径70 cm、目合0.5 mm）の傾斜曳で行った。

## 1. 海況

調査日の関東・東海海況速報によると、黒潮は紀伊水道沖で33°30' N付近まで接近し、潮岬沖を接岸基調で通過した後、東進している。紀伊水道外域の和歌山県側から暖水が北上し、紀伊水道内域は由良町沖付近で15°C台、和歌山市沖付近で12°C台である（図1）。

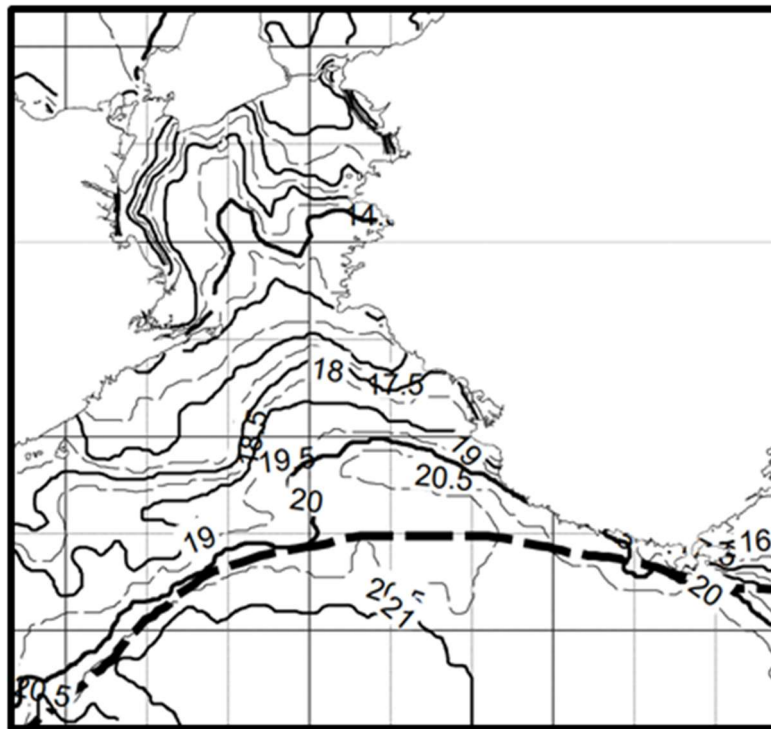


図1 2026年3月18日の水温分布

調査船「きのくに」の観測による表面水温分布と表面塩分分布を図2に示す。水温は日ノ御崎沖から白崎沖で13~15°C台、徳島県沖方向に延びる水温フロントが不明瞭ながら見られた。フロント以北は湯浅町沖で13°C台、それ以北は11~12°C台であった。

塩分は白崎沖以南が34.00 PSU以上、日ノ御崎沖から白崎沖に塩分フロントが見られた。塩分フロント以北は33.25~34.00 PSU台であった。

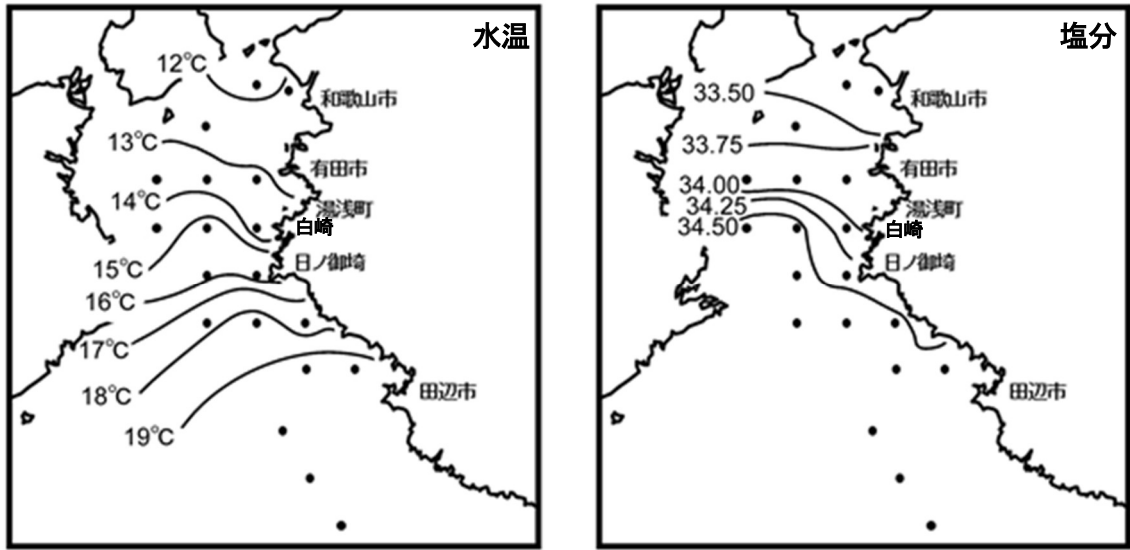


図2 表面水温と表面塩分の分布図（2026年3月17～18日）  
（黒丸は調査定点）

漁業調査船「きのくに」の観測による表層（10 m）の流況を図3に示す。3月17日、すさみ町から串本町の沿岸域では1～2 knの東向流であった。紀伊水道外域および紀伊水道内域の流れは不定流であった。3月18日、紀伊水道内域からすさみ町沖は概ね北向流であったが、流速は弱かった。すさみ町の沿岸域では振り分け潮が見られた。串本町の沿岸域では1～2 knの東向流であった。

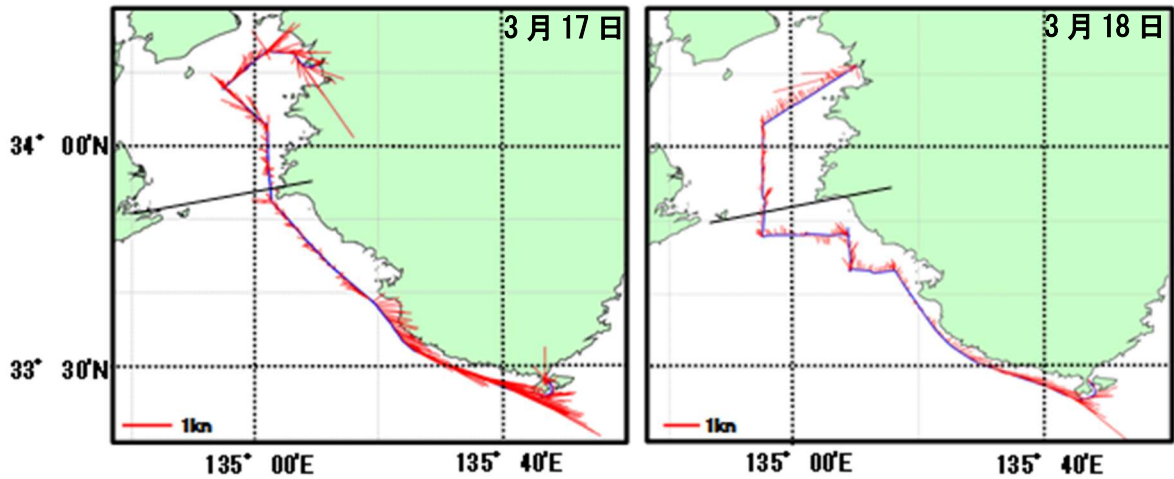


図3 2026年3月17～18日の表層流況図（10 m）  
（左図は17日、右図は18日に観測）

## 2. カタクチイワシ仔魚の採集状況

カタクチイワシ仔魚は田辺市沖から有田市沖にかけて広く採集された（図4）。仔魚の全長は3.6～18.0 mmで、平均は7.3 mmであった。

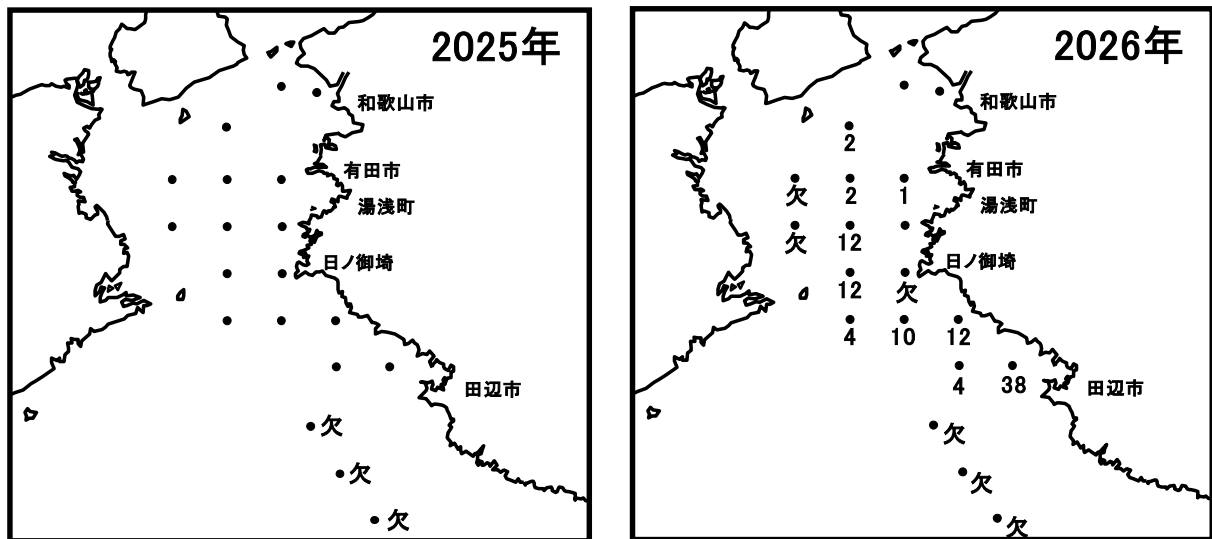


図4 カタクチイワシ仔魚の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

## 3. マイワシ仔魚の採集状況

マイワシ仔魚は田辺市沖から有田市沖にかけて広く採集された（図5）。仔魚の全長は2.9～20.8 mmで、平均は10.0 mmであった。

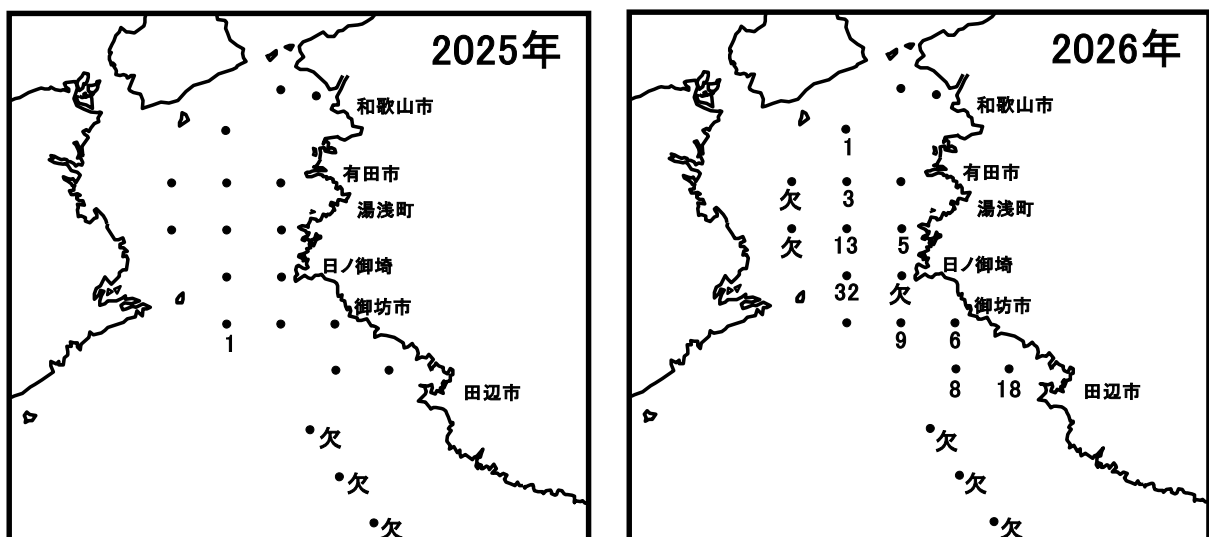


図5 マイワシ仔魚の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

#### 4. ウルメイワシ仔魚の採集状況

ウルメイワシ仔魚は田辺市沖から和歌山市沖にかけて広く採集された（図6）。仔魚の全長は5.3~15.9 mmで、平均は9.0 mmであった。

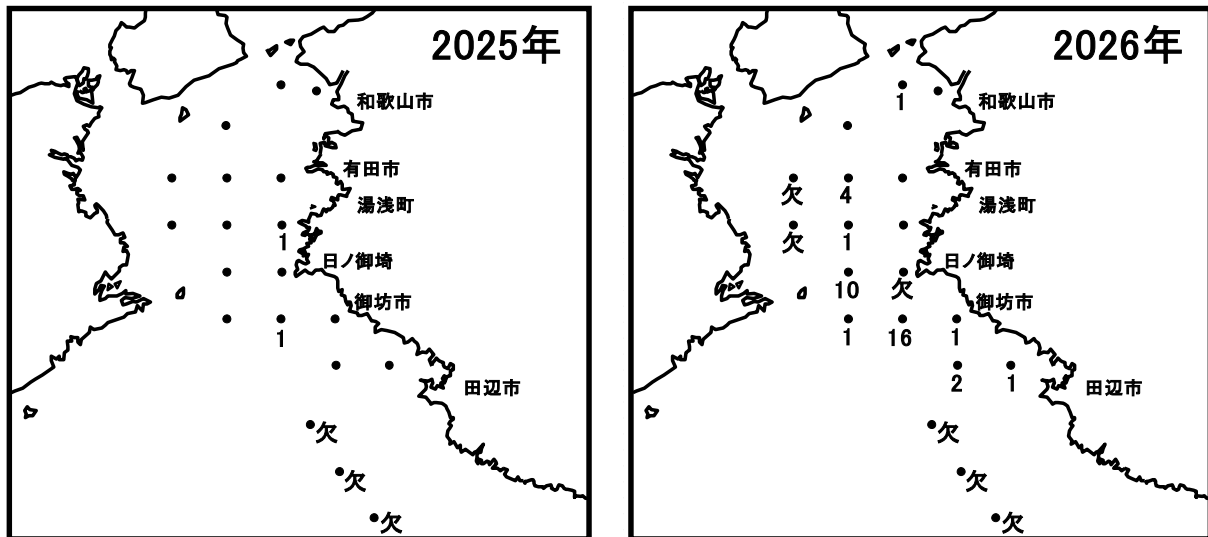


図6 ウルメイワシ仔魚の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

#### 5. カタクチイワシ卵の採集状況

カタクチイワシ卵は田辺市沖から日ノ御崎沖にかけて多く採集された（図7）。

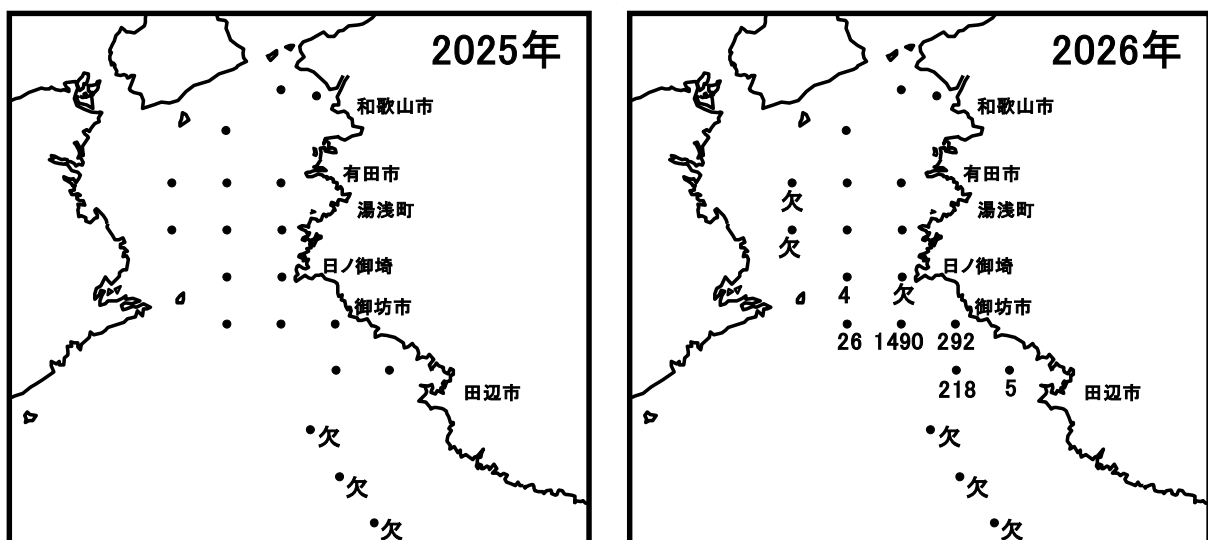


図7 カタクチイワシ卵の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

## 6. マイワシ卵の採集状況

マイワシ卵は田辺市沖から印南町沖にかけて採集された（図8）。

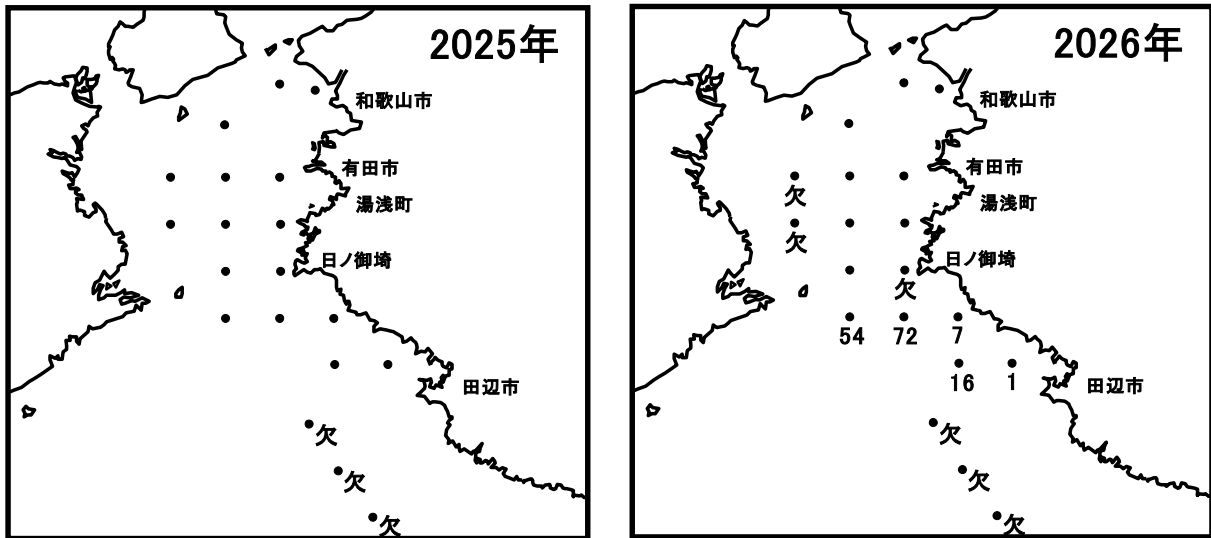


図8 マイワシ卵の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

## 7. ウルメイワシ卵の採集状況

ウルメイワシ卵の採集数は昨年を上回り、卵は田辺市沖から日ノ御埼沖にかけて採集された。

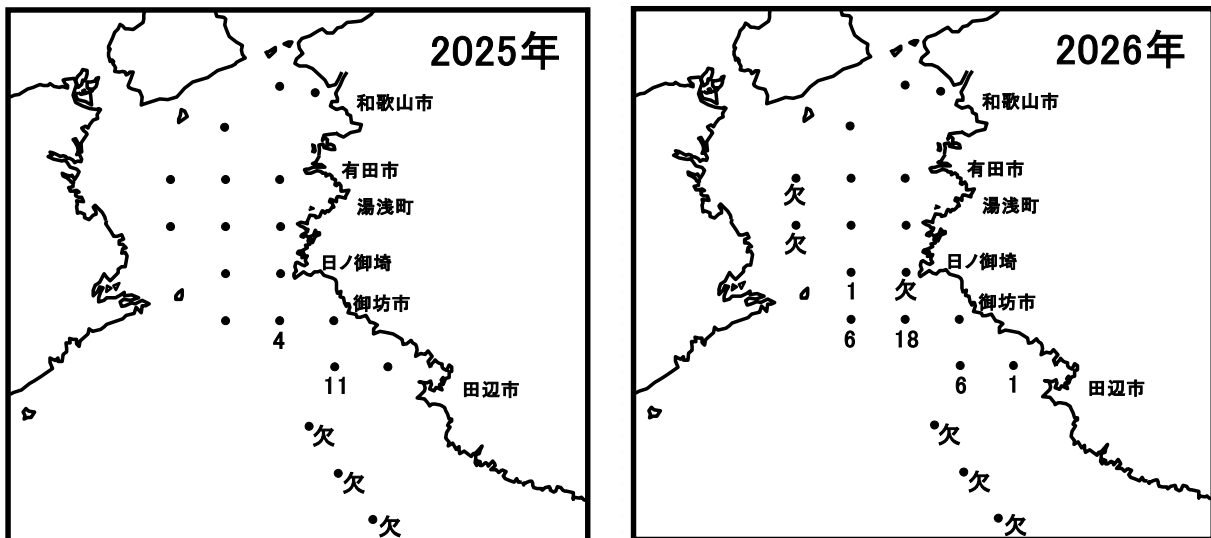


図9 ウルメイワシ卵の採集状況  
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

#### 8. 今後の春シラス漁の見通し（予測）

カタクチイワシ仔魚および卵は、紀伊水道外域（春シラスの補給源）に広く多く分布していた。2011年以降、3月の紀伊水道外域において、カタクチイワシ仔魚および卵の採集数は少なかったが、今年は多く採集され、産卵量の増加が顕著であった。また、カタクチイワシ仔魚は紀伊水道内域にも分布しており、漁場への加入も進んでいた。

マイワシ仔魚および卵は、紀伊水道外域に広く分布していた。2021年以降、3月の紀伊水道外域において、マイワシ仔魚および卵の採集数は少なかったが、今年は比較的多く採集された。また、マイワシ仔魚は紀伊水道内域にも分布しており、漁場への加入も進んでいた。

ウルメイワシ仔魚および卵は、紀伊水道外域に広く分布していた。また、ウルメイワシ仔魚は紀伊水道内域にも分布しており、漁場への加入も進んでいた。

イワシ3種の仔魚および卵の採集数は近年で比べると多かった。これらの仔魚および卵は順調に成長すれば4月上旬ごろから漁獲対象になると考えられる。潮岬沖の黒潮は接岸基調で推移すると予測されており、紀伊水道内域方面への暖水流入が確認されていることから、この暖水によってイワシ3種の仔魚が紀伊水道外域から紀伊水道内域に来遊すると考えられる。今年の春シラス漁（4月）は昨年を上回る漁獲となる可能性がある。